

くまもと戦跡ネット出前平和講座実施計画案

令和8年7月30日版
くまもと戦跡ネット 高谷和生

1 主 題 地域に残された戦争の傷跡を知ろう！ 戦時資料で体験しよう！ ～長崎修学旅行（10月8日・9日）の事前学習～

2 日時・場所 令和8年9月25日（金）2～4時限 9時40分～12時15分
1・2組合同授業 図工室

3 対 象 菊水小学校6年・2学級 46名
1組：坂井英司先生、2組：豆塚先生

4 概要・内容

(1) 学級での事前学習 ※総学「平和学習 平和な世界を築く」 ※実施するか検討

「戦争とくらしの道具」を調べる！ ※班編制等は、学校一任

※事前に渡しは「8月末頃」、豆塚先生の高谷自宅での受取りとする。

①項「体力省検定規格手榴弾 美津濃謹製」

……学校での体力測定用訓練用手榴弾（陸軍九九手榴弾と同重量・ミズノ製）、実物
手榴弾片、陶製手榴弾、訓練弾二種

②項「陶製保存容器 防衛食器」

……食品保存用の陶製容器、缶詰め代用品（有田焼）、代用品

③項「燈火管制用電灯カバー」

……空襲時の家庭用電灯覆い、灯火管制用マツダ製電球 他

④項「紙の爆弾 伝単」

……日本空襲時に投下された伝単各種

⑤項「戦時色の強い 子どもの遊び道具と学用品」

……子ども用に作られた檜材での木銃、双六、戦争ごっこ用おもちゃ、戦争かるた

(2) 当日（9/25）の学習日程 等

ア 学校に残された「戦争の傷跡」を歩く、調べる！

……9:40～10:10

※見学先周辺の除草と枝伐採をお願いします。

(ア) 陶製「二宮金次郎像」

□金属供出による「陶器製への代用」、備前焼
刻字・銘あり

(イ) 戦没者慰霊の「仰魂（ぎょうこん）」碑

□地域での戦没者への「慰霊の場所・空間」、
日露・日独・ノモンハン戦争・日支・太平洋
戦争の記銘

イ 講話 ……10:10～11:10

(ア) 「戦争とくらしの道具」調べの発表

夏休み明け「身近な戦争調べ」疑問点の発表

※図書室『戦争とくらしの事典』ほかを参照

□アイパッド利用学習での各項目の発表

事前に発表者は確定ください。

(. . . .)

(イ) 赤穂原秘匿（あこうばるひとく）特攻飛行場

□太平洋戦争末期で、特攻攻撃のための秘匿飛
行場「陸軍山鹿飛行場」

□戦時証言での「江田国民学校講堂におかれた
「大浜飛行場の練習機ユングマン」

□設営部隊として、坂本善三画伯が旧川添国民
学校に駐留。本部は江田「正元寺（寺添さ
ん）」

(ウ) 玉名や熊本への空襲

□玉名への空襲、熊本市への2回にわたる大規
模な中小都市空襲

□パンプキン（原爆模擬）爆弾と原爆

空襲博士ちゃん（ ）、M69焼夷弾、機銃弾、爆弾片の実物



校内「金次郎」像前での、調べ学習の様子



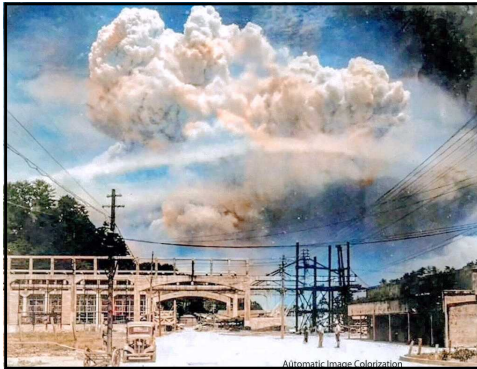
特攻仕様の九三式練習機「薫風隊」
菊池飛行場の戦後接収写真に着色

(エ) ナガサキ原爆の惨状、浦田藤枝さん紙芝居

「長崎原爆被爆のおはなし ～いのちを大切に、戦争のない世界をつくるために～」

- ☐ 菊水から「原爆はどの様に見えたのか？」
- ☐ 熊本と長崎原爆の関わり、候補地の16都市の一つ、当日の飛行航路
- ☐ 上演のデータ等が、豆塚先生に事前に送付する。児童で事前の練習等を行う。

図書委員他 朗読 (. . .)



□記憶をよび起こすため、白黒写真をAIカラー可視化での「長崎原爆」復元
□浦田藤枝さん被爆体験の紙芝居「長崎原爆被害のおはなし」

[休 息]

・・・11:10～11:20

ウ 戦時資料紹介「当時の服装を体験してみよう！ 空襲にそなえて！」

・・・11:20～11:50

体験① 戦時・銃後の婦人

「もんぺはどんな着心地かな！ 動きやすい！

防空頭巾で空襲から命を守るの！」

女子児童 (. . .)

- ☐ 女性用もんぺ上・下、防空頭巾四種、愛国婦人会たすき・徽章、毒ガス防止民間マスク
- ☐ 空襲看板、防空サイレン
- ☐ 防空演習パネル 二種

体験② 陸軍兵士の軍装品

「陸軍の兵隊さんは こんな服装だった！

これで戦争を！」

男子児童 (. . .)

- ☐ 陸軍鉄かぶと、軍服上着、軍靴、たこ足背囊、毛布、飯ごう、水筒、旧制中学生訓練用教練銃
- ☐ 陸軍行軍・戦闘パネル 二種

オ 感想発表・まとめ

・・・11:50～12:10

- ☐ 長崎だけで戦争があったのではなく、身近な場所に「戦争の傷跡」が残されていることに気づく！
- ☐ 空襲という戦争の究極が「原爆」投下！
- ☐ 被爆地「ナガサキ」とのはじめての出会い！
- 紹介 『トランクのなかの日本』とローマ法王「平和のメッセージ」カード
- ☐ 「NAGASAKI 平和な世界に向けて」「絶対、二度と戦争をおこしてはいけな

い！」

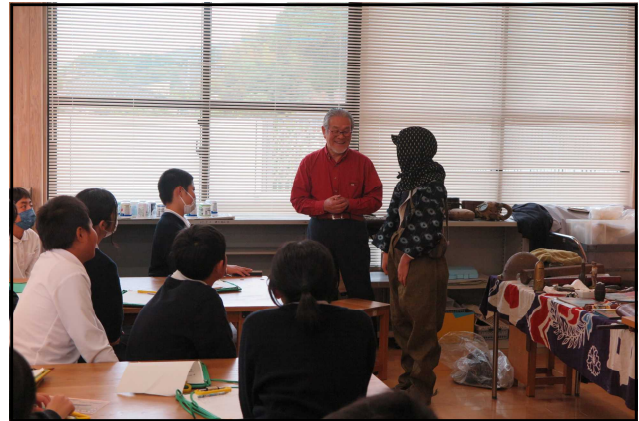
5 備考

- ☐ 学校よりくまもと戦跡ネットへの公文での依頼文発送
- ☐ 児童・職員配布用に平和継承リーフレット『大浜飛行場 II』『M76焼夷弾…』『くまもとの軍人像』三種を、80部事前に手渡す。
- ☐ 金次郎像・仰魂碑周辺は、事前に枝払い等を行う。
- ☐ 報道機関へは、菊水小学校及びくまもと戦跡ネットの双方から依頼等を行う。



連絡先

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク 代表 高谷 和生
□〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
□携帯 090-1513-5528
□メールアドレス takayanagi912@yahoo.co.jp
□会HP https://kumamoto-senseki.net/



□校舎目での集合
□陸軍兵士軍装の着用

□仰魂碑での見学様子
□防空頭巾・もんぺ等の着用

熊 本 日 報 新 聞 令和 7 年(2025年) 11 月 16 日 日曜日

「原爆の恐ろしさ印象に」

菊水小 修学旅行前に戦争学ぶ

和水町の菊水小で11日、長崎への修学旅行を前に平和講座があり、6年生50人が原爆の悲惨さや戦時中の暮らしなどを学んだ。児童らは校庭で、日露戦争から太平洋戦争までの地域の戦死者名が刻まれた「仰魂碑」を見学。講師で戦争遺跡・文化遺産ネットワークの高谷和生代表(71)「玉名市」は「戦争は書から私たちの身近にあった」などと話した。

高谷さんは熊本市への空襲の被害や、熊本県内から見えた長崎原爆のきのこ雲の写真などを紹介。金属不足の中作られた陶器の缶詰やモンペなど戦時中の生活用品も見せ「どんな暮らしを強いられていたか想像してほしい」などと呼びかけた。

児童らは、長崎で被爆した浦田藤枝さん「玉名市」の紙芝居を披露。奥田善依さんは「原爆の恐ろしさが印象に残った。長崎でもっと学びたい」と話した。(伴哲司)

戦時中、灯火管制に使われた道具を手に当時の暮らしについて話す高谷和生代表＝11日、和水町

令和7年度出前平和講座の紹介 熊日新聞 2025年11月16日